

■辻本光楠 教育家。小卒で渡米帰国後、教育に取り組み始め、予備校から始めて(京都商業学校)設立に至り、発展させた。

つじもとみつくす

明治14年政変1881＝ 和歌山県名草郡亀川村且来で、辻本甚兵衛の四男に生まれる。母いとよ。他に祖母と二人の姉がいた。

初の対等条約1888＝ 7歳： 且来尋常小学校入学。

帝国憲法発布1889＝ 8歳：

帝国議会始・1890＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝13歳：

白馬会・・・1896＝15歳： 亀川尋常小学校卒業。アメリカ渡航を志し、

八幡製鉄始・1897＝16歳： 横浜出航。カナダのヴィクトリアを経て、サンフランシスコに上陸、アラメダの農場で働く。ブランケ組となりフレスノの葡萄園へ。ジャパントウンに住み、働きながら学ぶ。

子規句歌革新1898＝17歳： 米西戦争勃発。輸送船のボーイとなってマニラへ向かい、ベルビリヤの缶詰工場で働く。サンフランシスコに戻り、働きながら学ぶ。

Bushidou・・・1899＝18歳： サンノゼへ移り、ジャパントウンに住む。グラント・グラマースクール第四年級入学。暴漢に襲われ片腕を失う。

ピアノ国産化・1900＝19歳： 第七年級で退学。この頃右足関節炎痛に悩む。ホノルル経由で帰国。横浜・東京・神戸・大阪見物して、

田中正造直訴1901＝20歳： 亀川村の生家に帰る。

教科書疑獄・1902＝21歳： 故郷を出て京都へ向かい、私立国民学校入学し、退学。

日比谷公園・1903＝22歳： 同志社普通学校第二学年に編入学。右足関節炎痛が再発、京都府立療病院で一年間入院・加療を続ける。

日露戦争始・1904＝23歳： この頃、前田すてと結婚。***上京し、斎藤秀三郎の{正則英語学校}に入学。通学しながら、神田で{修文学舎}を創め、中国人留学生に教え、また、{皇道学院}を創め、英・数・国漢を教える。**

日露戦争終・1905＝24歳：

韓国反日暴動1907＝26歳： 正則英語学校文学科を卒業。

アラビヤ創刊・1908＝27歳： 長女百代が誕生。***京都に戻り、三条で{発性学院}を創める。**

伊藤博文暗殺1909＝28歳： この頃、東丸太町へ移転。**私立{発性学院}設立認可を願出て、認可される。**

韓国併合・・・1910＝29歳： 次女満寿代が誕生。

大逆事件判決1911＝30歳： **聖護院に移転し、{京都正則予備学校}と改称。**

明治天皇没・1912＝31歳： **御所近くの予備学校の経営を譲り受け、校名を{京都予備学校}とし、聖護院の校地へ移す。**

大正政変・・・1913＝32歳： 長男一郎が誕生。

第一次大戦始1914＝33歳： **{京都正則予備学校}の廃止を申請、並置の{京都予備学校}へ統合する。**

民本主義・・・1916＝35歳： 吉田下阿達町に移転するとともに、校舎を新築。

ロシア革命・1917＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝40歳： 母いとよが死去。

水平社結成・1922＝41歳： 三女松江が誕生。吉田橘町六番地に住む。

護憲三派圧勝1924＝43歳： この年、高田照雄が{京都予備学校}の講師となる。

治安維持法・1925＝44歳： ***夜間四年制の{京都商業学校}設立認可され、{京都予備学校}を仮校舎に開校。校友会(後の報国団)発足。**

円本時代始・1926＝45歳：

金融恐慌・・・1927＝46歳： 京都府葛野郡花園村に校舎建設が認可され、

共産党事件・1928＝47歳： 長女が高田照雄(二代目校長)と結婚。五年制の昼間部開設し、夜間部とも花園村の新校舎へ移転。{京都予備学校}は旧校舎に残す。元山口高等学校長横地石太郎を学監に招聘。校旗を制定。

世界恐慌・・・1929＝48歳： 父甚兵衛が死去。第一回卒業式、京商同窓会結成。校歌を制定。

海軍軍縮条約1930＝49歳： 市域変更で京都市右京区となる。校友会・同窓会誌を創刊。銀行講習所を併合し、生徒を編入学させる。

満州事変・・・1931＝50歳：

五一五事件・1932＝51歳： {満蒙研究会}発足。

国際連盟脱退1933＝52歳： 次女が中谷義信と結婚。京商が全国選抜中等学校野球大会へ出場。**帝国教育会より教育功労者表彰。**

帝人疑獄事件1934＝53歳： 選抜野球大会へ出場。夏の甲子園大会へも出場。経理担当者の不正発覚し、負債整理に奔走する。**吉田の旧校舎跡に{京都商業実務学校}開設。**

芥川直木賞始1935＝54歳： 百社参拝始まる。創立十周年記念式。

二二六事件・1936＝55歳： 長男が同志社大学法学部卒業。天皇・皇后御真影奉戴式。朝鮮・満州へ修学旅行。

日中戦争始・1937＝56歳： 負債の和議成立。京商生徒互助会発足。

健保+総動員1938＝57歳： 殉国者慰霊祭(以後、毎年実施)。京商報国貯蓄組合を組織。神社その他への勤労奉仕始まる。

第二次大戦始1939＝58歳： 選抜野球大会へ出場。教職員制服を定める。満蒙研究会を東亜研究会と改称。在満同窓生の招待で渡満。

大政翼賛会・1940＝59歳： 選抜野球大会で準優勝。夏の甲子園大会へ出場。明治神宮選抜野球大会へ出場。

日米開戦・・・1941＝60歳： この頃、市外各所で畑を借入れ食糧増産計画に参加。校友会を報国団に改組。長男が婚姻届け後、応召で朝鮮へ向かう。生徒防空補助隊編成。職員非常召集訓練を実施。在学年限の短縮に伴い臨時補習科を設置。

・・・1942＝61歳： 病床に臥し、全校生徒が神社へ平癒祈願の裸詣り。全校生徒奈良へ強行軍を実施。

創価学会検挙1943＝62歳： 中等学校令の公布で修業年限四年となる。戦時非常措置令で工業教育への転換を命じられ、京都府学務課より学校売却を指導される。

年金+総武装1944＝63歳： 学徒戦時勤労動員令で第四・五年生徒が寿重工業、寺内製作所に出勤。***校長を辞職。京都工業学校へ転換となり、高田照雄が校長となる。**

敗戦・・・1945＝64歳： 京都商業実務学校一カ年繰り上げ卒業を実施、廃校となる。学徒戦時勤労動員令により第三年生徒も出勤。ナガサキヤ食糧工場の指定する学校工場となり、生徒の通年出勤始まる。決戦教育措置要綱により授業停止。**敗戦で、戦時体制解除となり、財団法人京都工業学校の設立認可、理事長に就任。**

新憲法公布・1946＝65歳： 京都商業学校設置の認可。長男がビルマ戦線より復員。中谷義信台湾より帰国し、教員として勤務。

新憲法施行・1947＝66歳： 六・三制実施で京都学園中学校設置。高田校長教職不適格者となり退く。長男が校長事務取扱となる。

極東裁判決・1948＝67歳： 京都商業高等学校発足。京都工業学校生徒は他校へ移し、廃校となった後、**没した。**